



金匱要略聞書卷三

南涯吉益先生講說

消渴小便不利淋病脉證並治第十三

○厥陰之為病消渴氣上衝心中疼熱
飢而不能食食則吐衄下之不肯止

此章ハ傷寒論中六經ノ條ニ於テ辨スル此ニテハ辨スルニ
及ハズ唯消渴ノ字アルヲ以テ雜病ノ部ニ出スノミ

○男子消渴小便反多以飲一斗小便一斗

腎氣丸主之方見婦人雜病中

消渴ノ症ハ小便少キモノナリ然ルヲ今此症ハ小便多
キヨリ反トハ云タルナリ

○脉浮小便不利微熱消渴者宜利小便
不利發汗五苓散主之

熱ニテ水ヲ結フモノハ小腹滿シ小便不利シテ心下悸スル
モノナリ散ハ上部下ハ九葉周身ニハ湯葉ト知ルベシ

○渴欲飲水水入則吐者名曰水逆五苓
散主之

五苓散ノ解ハ傷寒論中ニ詳ナリ彼ニツイテ見ルキ
ナリ凡消渴スルト云モノハ血氣ノセマリヨリ起ルモノ
ナリ故ニ血分ニヤリテ小便不利スルアリ自利スルアルナリ
沢瀉ハ血氣ノセマリアリテ水ヲ逐フモノヲ治スルニヨリ血ヲ
モメクラシ水ヲモメクラスモノナリセマレハ水ヲ逐テ渴ス
其セマリヲ緩ルトキハ血ノセマリ止ム水ヲモメクルノ理アルナリ

消渴シテ小便不利スルモノハ上ニアリテ外ヘセマルナリ五苓散
ハ上ニアリテセマルヨリ好ヘセマレハ汗出テ上ヘセマレハ吐水シタリ
吐涎沫スルナリ八味丸ハ下ニアリ故ニ小腹拘急シタリ小
腹不仁モシタリ甚シキトキハ消渴シタリ小便モ多キニ至ル

○渴欲飲水不止者文蛤散主之文蛤散方

文蛤 四兩

右一味杵為散以沸湯五合和

服方寸匕

文蛤散ハ胸ヤケヨリ渴ヲナスモノニ効アリ文蛤ハハナリ
ナリ蛤ノアヤアルヲ文蛤ト云本草ノ蛤ノ附方ニ文蛤散ヲ

出ス三因方ノ文蛤散ニ五倍子ヲ用五倍子ヲ以テ試ニ甚
効アリ宋以後ノ諸書ニハ川文蛤ト称スルモノ悉ク五倍子ヲ用フ

○淋之為病小便如粟狀小腹弦急痛

引臍中

淋病ハ腹スナハリ小便難シテ日數十行スルモノナリ
淋病ニテ渴スルモノハ滑石 苓甘散ヲ兼用シテ猪苓
湯ヲ用ベシヨク應スルモノナリ久病ニテ小腹ニコリ足モノ
ハ大黃牡丹皮湯ニ宜ナリ男子ノ淋病多クハ疝瘡
ニテ真ノ淋病ハ少キモノナリ小便セントスルトキ膿水便
道ニ凝滯シテ通セス膿出テ快通スルモノハ大黃牡丹皮湯擅

○小便不利者有水氣其人苦渴括蔞
瞿麥丸主之括蔞瞿麥丸方括蔞根
二兩茯苓 薯蕷 各三兩附子一枚炮
瞿麥一兩 石五味末之煉蜜丸梧子大
飲服三九日三服不知增至七八丸以小
便利腹中溫為知

括蔞瞿麥丸ハ血ヲテ水ヲ逐フナリ水氣ヲ結ニハアラサル

ナリ

○小便不利蒲灰散主之滑石白魚散
茯苓鹽湯并主之蒲灰散方蒲灰七分
滑石二分 右二味杵為散飲服方寸七日
三服○滑石白魚散方 滑石二分 亂
髮二分燒白魚二分 右三味杵為散飲

服方寸匕日三服。○茯苓戎鹽湯方

茯苓半斤 白朮二兩 戎鹽彈丸大一枚 右

三味 下關本云先將茯苓白朮煎成入鹽再煎

分溫三服

此三方唯小便不利ト云フ其別ヲ詳ニセ又故ニ置テ辨セズ
白魚ハ口ノトカルモノ

渴欲飲水口乾舌燥者白虎加人參湯主之

傷寒論ニ解アリ彼ニ就テ見ルヘキナリ

○脉浮發熱渴欲飲水小便不利者猪苓

湯主之猪苓湯方猪苓 茯苓 阿膠

滑石 澤瀉 各一兩 右五味以水四升先

煮四味取二升去滓內膠烱消溫服

七合日三服

此章ハ氣ハ發熱ニヨツテ散シ血分ヲ主トス小便不利ハ
水氣循環セサルヨリ致所ナリ滑石ハ血分ヲ主トス小便
淋瀝シテ澁滯スルモノニ効アリ世ニ淋病ト稱スルモノニ
効アリ渴ツク痛モノニ滑石荅耳散宜キナリ少腹ニ塊
アルモノニ大黃牡丹皮湯効アリ五苓散ノ小便不利
ハ血氣急テ水ヲ逐テ汗出其脉浮數ニナルモノニ効アリ
此方ハ唯血氣不循環シテ水溜リテ内ニアリ故ニ汗ハナ
ナリ

水氣病脉證并治第十四

○師曰病有風水有皮水有正水有石水

有黃汗風水其脉自浮外証骨節疼
痛惡風皮水其脉亦浮外証脗腫按
之沒指不惡風其腹如鼓不渴當發
其汗正水其脉沈遲外証自喘石
水其脉自沈外証腹滿不喘黃汗
其脉沈遲身發熱胸滿四肢頭面腫

久不愈必致癰膿

此章ノ内風水皮水黄汗ノ治アリ其他ハ治法ナシ其
石水ハ水十分ニ氣ヲ閉ル故ニ喘ナク腹滿ノミアルナリ

○風水脉浮身重汗出惡風者防已黄

耆湯主之防已黄耆湯方 防已二兩

黄耆一兩一分白朮三分甘草半兩

右剉每服五錢匕生姜四片大枣一枚

水盞半煎取八分去滓溫服

大青竜湯ノ身重ハ汗無キヲ徴トスベシ此湯ハ氣外ヘモ
リメクラエトスレ氏循環スル一アタハサルヨリ皮膚層ニ水溜
ルナリ外ヘモマルヲ治スルモノハ大耆ノ治スル所ナリ氣ノ
メクリアミク外ヘ氣ノ榮セサルヲ達セシムルハ黄耆ノ
治スル所ナリ故ニ氣外ヘメクリアミキヨリ不仁アリ盜汗
ヲ治スルハ表ヘ氣ノメクリアミキニ血ノセマリアレハ汗モ
レヲ盜汗トナル防已ハ氣循ラス表ニ溜滯ノ水ヲ治ス
氣ノメクラサルハ必下部ニ腫起リ附腫ナトアリ水氣
既ニメクラスセタル故ニ身重アルナリ

○風水ハ汗出テモ水タマル故ニ渴ハナキナリ

風水ハ脉浮黄汗ハ脉沈ナリ外水内ニ陷リ気セ
マルモノハ防已ノ治スル所ナリ

此湯ノ脉浮ハ大青竜湯脉浮緩ト同シク表水脉道
ヲ閉サルナリ氣血脉道ヲハメクレ氏表ハ發セサルナリ
脉道ニ變ナク表ニ水アリテ外發ノ氣ヲ閉キルモノハ
大青竜湯ナリ故脉浮緩身不疼但重トアリ此湯ハ
氣メクラサルヨリ水自然ト表ニタマル症ナリ彼ト反對ニ氏
其脉ハ同ナリ

此湯ハ氣循環セシテ表ニ水滯スル故ニ芍薬ナシ黄耆
芍薬桂支苦酒湯ハ内ヨリ外ヘセマリテ出ル水ナルニヨリ
芍薬ナリ此方ノ分量古ナラス外臺秘要ニ從ヒ防已
四兩黄耆五兩朮三兩甘草二兩生姜大棗十二枚

右六味以水六升煮取二升分溫三服コレニ從ベシ

○風水惡風一身悉腫脉浮不渴續自
汗出無大熱越婢湯主之越婢湯方

麻黄六兩石膏半升生薑三兩

大棗十五枚甘草二兩石五味以水

六升先煮麻黄去上沫内諸薬煮取

三升分温三服

風水ト風ノ字ヲ云ハ動揺發散ノ義ニトル前章モ風水ノ二字ヲ冒首ス然レ氏コレハ辨別ス（キ）ナリ此章ハ表ノ開ニヨツテ氣發セスセムモノナリ防已黃耆湯モ内ヨリ氣發セントシテメクラスシテ水溜ルナリ然レ氏病位ハ一ナルニヨツテ風水ノ二字ヲ冠セシナリ若如此外（出）テ一身悉腫ル、モノナラハ水皮層（出）テ内ノ津液竭テ渴ス（キ）ニ不渴ハ表ニ痰水アツテ外發ノ氣ヲ裏故也本ヨリ表ヲ開レハ自然ニ内ニ水溜ル心アリ故不渴ナリ外發ノ氣出ントスレ氏熱伏スルニヨツテ發セス汗ハ出ル是氣外發セントシテ氣ノミ發セスセム故ナリ大青

竜湯不汗出而煩躁ト類セリ此方桂枝十キハ自汗出ニヨツテナリ外（ノ）セマリツヨキ故ニ大棗十五枚アリ甘草モ氣逆シテセマルヲ治ス生姜ハ氣ヲメクラシ石膏ハ伏熱ヲサハク麻黄ハ表ノ痰水ヲ逐ナリ大青竜湯ハ不汗出而煩躁ハ是桂枝アル故ナリ中西惟忠ノ説ニモ耆麻黄ト合スレハ無汗ヲ治ス麻黄石膏ト合スレハ汗出ヲ止ト自汗出レハ熱伏シテ發セス氣セム故ナリ然レ氏脈ノ浮ナルハ氣脉道ヲ閉サルナリ大棗ハ内ヨリセマル血氣ヲ治ス十棗湯モ内ヨリセマリテ心胸中ノ水ヲ動スナリ麻黄劑ハ表ヨリ開ル故ニ氣發セントシテ發セサルヨリ起ルモノハ其腫面部ヨリ發スナリ防已ハ氣循ラサルヨリ水溜ルカ故ニ其腫下部ニアリ此ヲ以テ内外ヲ辨スベシ

杏仁十キモノハ身疼モ喘氣モナキカ故ナリ

又云越婢湯ハ大青竜湯ノ症ニシテ水氣已登シ血氣ハ未登ナリ一身悉浮腫自汗出ルハ水氣已登スルカ故ナリ
血氣未登ノ微ハ無大熱ト云モノ其證ナリ自汗出不渴ト云モノハ防已ノ水ニアラサルヲ明ス此方ニ杏仁十キモノハ水氣已登シテ内攻ノ勢ナク身不疼且喘セサレハナリ無事支モノハ汗出レハナリ此氣逆セサルノ證ナリ石膏ヲ加モノハ氣伏スニヨリ無大熱ナリ内ヨリセマツテ腫ルモノハ渴ヲアラハス

○皮水為病四肢腫水氣在皮膚中四肢聶々動者防已茯苓湯主之防

已茯苓湯方 防已 三兩 黃耆 二兩

桂枝 三兩 茯苓 六兩 甘草 二兩 右五

味以水六升煮取二升分溫三服

氣循ラサルニヨツテ皮膚ニ水溜ルナリ溜ル故ニスキトラルヤウニ如水晶水皮膚層ニアルナリ此湯ハ外へ氣ノ達シ水氣ヲサグナリ氣達セサル故ニ無汗ナリ由此桂枝アリ聶々動スルハ茯苓桂枝ノ主治ナリ此湯ノ主治ハ多手足ニ腫アラハルナリ

○裏水者一身面目黃腫其脉沈小便不利故令病水假令小便自利此亡津液故令渴也越婢加朮湯主之甘草麻黃湯亦主之甘草麻黃湯方甘草二兩麻黃四兩右二味以水五升先煮麻黃去上沫內甘草煮取三升溫服一升

此章ハ前ノ越婢湯ト參考スベシ是熱伏シテ氣外發セス氣不循環ニシテ水滯ヲ帶ルナリ是朮ノ治スル所ナリ表ノ閉劇シク氣循ラズ水溜ル故ニ脉沈ナリ少陰病發熱脉沈ト事カレハ附子ニテ氣達セントシテ達セサルナリ是ハ氣メクリテ外發セントシテ熱伏スニ抑ヘルナリ石膏ヲ以テ伏熱ヲ治シ水ヲ以テ氣ヲ循環セシムルハ水サシテ小便不利ヲ治スルナリ

問曰黃汗之為病身体腫發熱汗出而渴狀如風水汗沾衣色正黃如蘗

汁脉自沈何從得之師曰以汗出入水中
浴水從汗孔入得之宜耆芍桂酒湯主
之黃耆芍藥桂枝苦酒湯方黃耆兩五
芍藥三兩桂枝三兩右三味以苦酒
一升水七升相和煮取三升溫服一
升當心煩服至六七日乃解若心煩

不止者以苦酒阻故也

腫ノ字一本ニ重ニ作ルニ從フベシ此ハ内ヨリ外へ出ル形
アリ故ニ發熱汗出故渴スルナリ内ヨリセラルモノハ芍
藥コレヲ治ス又苦酒ハセマリ出ルモノヲ推下ルノ功アリ
セマリテ行ントスルヲ推下故ニ心煩アリ内ヨリ血氣凡ニ
セマリ出ルト云ヘ氏出カ子テ水滯ルナリ故身重アリ水
閉テ氣血迫リテ熱ヲ生シ發黃ヲナス氣セマリ水閉
テ血氣モ不循環シテ滯ル故ニ脉モ亦浮ナラス沈トナル
ナリ苦酒モ氣セマリツヨキトキハ用ルナリ氣セマラス
不循環ト見ハ美酒ヲ用テ可ナリ病因ヲ云トモコレハ
鑿說ニテトルニ是ラサルナリ唯病ニ隨ヒ義ヲ推テ用ヘキナリ

○黃汗之病兩脛自冷「假令發熱此屬
歷節「食已汗出又身常暮盜汗出者
此勞氣也若汗出已反發熱者久久
其身必甲錯「發熱不止者必生惡瘡
若身重汗出已輒輕者久久必身瞤
即胸中痛又從腰以上必汗出下無汗

腰髁弛痛如有物在皮膚中狀如刺者
不能食身疼重煩躁小便不利此為

黃汗桂枝加黃耆湯主之桂枝加黃

耆湯方桂枝

芍藥

各三兩

甘草二兩

生姜

三兩

大棗

十二枚

黃耆

二兩

右六味以水八升煮取三升溫服

一升須臾飲熱稀粥一升餘以助藥
力溫覆取微汗若不汗更服

此章ハ内ヨリ起リテ血氣セマリテ急ニ發セシテ發セス
皮膚ノ間ニ滯ル故ニ如有物在皮中狀ナリ劇シキトキハ
内ニ及シテ不食セシム氣メクリアシク血滯ナル故ニ身疼
重アリ此モ表症ナレハ麻黄ノ行ク所ナリ外襲スルト
云モノハ表閉ニヨツテ氣發セス故大青竜湯乍有輕時
トアリ疼アレハ重ナク重アレハ疼ナシ然レ氏汗出レハナシ煩
躁モ然ルナリ小便不利モ五苓散トノ別ハ彼ハ血氣急
水滯ナリ然レ氏汗出テ渴スルモノナリ太陽病ト云モノハ

モト内ヨリセマルモノナリソレヲ發汗セシニヨリテナホナホ外
ニ津液出ニ因テ渴スルナリ

○内ヨリテ疼重スルモノ汗出レハナシ内ヨリセマリノツク
モノハ小便不利スルナリ表ヨリスルモノハ疼アレハ重ハナキ
ナリ此湯腹ニ結實ナクテ盜汗出ルモノニハヨク應シテ
効アルモノナリ

○氣分心下堅大如盤邊如旋杯水飲所
作桂枝去芍藥加麻辛附子湯主之枳
朮湯亦主之桂枝去芍藥加麻黄細辛

附子湯方 桂枝 生姜 三兩 甘草 二兩

大棗 十二枚 麻黃 細辛 各二兩 附子 一枚

右七味以水七升煮麻黃去上沫內諸

藥煮取二升分溫三服枳朮湯方枳

實七枚白朮 二兩 右二味以水五升

煮取三升分溫三服

主姜朮枳實黃辛附湯ト枳朮湯ト同文法ナリ右ノ辨別ハ
イカントト此湯ハ外ヨリ内ニセマリテ水心下ニ滿ルナリ苓
朮甘湯ハ心下逆滿ナリ傷寒五六日ニ胸腹苦滿又
心下石鞭ナトスルヤウニ外襲ニヨツテ氣外ニ發セス自然ニ水
心下ニ溜ル心アリ故ニ此湯ハ惡寒厥冷身ノシヒル、
アリ脚氣ナトニテ心下ニ塊アリ厥冷ナトアルモノニ効アリ
同シヤウニ八味丸ナトモ脚氣上冲ヲ治スルナレト是ハ
血ヲ主ニシ血氣不循環ヨリナス所ナリ故ニ其症モ少
腹不仁シタリ拘急ナトアリモト血ノ不循環ニツイテ水
タマルナリ表裏上下ノ差別アリ此湯ハ表ノ閉ニヨツテ
水心下ニタマリ内ヨリハ氣ノセマリモアリテキルノ症ナ
リヨクヨク辨別スベシ此旋杯ノ字覆杯ニ作リテ可ナリ

ヨク考ベシ此湯ハ積年惡寒アリテ盛衰ト云ヘ氏衣ヲ
重子足袋ヲハナサズモノナトニ効アリ主支去芍薬湯ト
麻黄附子細辛湯トノ合方ナリ脚氣ニテ四肢厥逆又
厥冷ナトナルニハ當飯四逆湯宜シ此モ血ノ不循環ヨリ起
ルト知ルベキナリ○枳朮湯ノ症ハ腹ニアル水氣上ヘセラル大
承氣湯ナトニモ腹滿而喘又大柴胡湯ノ心下急ナトモ
何レ諸薬合シテノ上ニ治効アレ氏枳實ハ下ノ水ノ上
ヘセラルヲ治スルモノナリ下ノ水ノ上ヘセマリテ水溜ルハ即
朮ノ治スル所ナリ主支去芍薬湯ナトノ心下滿微痛
ナト皆心下滿ト云所ニ多朮アリ此處ヲヨク考ベシ上ヘセマ
ルニツイテ小便不利ナトアリ此湯ハ外襲ナク内ヨリ起
リ腹ノ水氣ヲ上ヘセマラスナリ此前章ノ辨別ナリ

○内ヨリタマル枳實朮ナトノ水ハ囊ノ中ニ水溜ルヤウニ
凸ニ形アルモノナリ血ノ方ハ下ヨリサシコムモノナリ水血
トモニ結スルモノハ大陷胸湯ノ如ク石ノ如ク鞭クナルモノナリ
ヨク辨別スベシ柴胡湯ナトハ外閉ニヨツテ胸脇苦滿ヲ
アラハス半隻ナト方中ニアリ是外襲ニヨツテ内ニ水ノ
溜ルナリ此表ヨリテキルノ水ナリ此湯ナトハ腹ノ水ヲ
心下ヘセマラスモノナリ故ニ主姜枣芩黄辛附湯ニ朮ナ
キヲ以テ知ルベキナリ此其水ハ外襲ヨリ起レハナリ水ニ
ヨツテ氣ヲ閉キリ如此ノ心下ニ塊ノ如キ形容アルモノハ
枳朮湯ノ主治ト知ルベキナリ

○附方外臺防己黃耆湯治風水脉浮

為在表其人或頭汗出表無他病
者但下重從腰以上為和腰以下當腫
及陰難以屈伸

防已黃耆湯ノ行處ハ黃耆ハ氣表ヘメクラントシテ
氣メクラス防已ハ氣メクラントシテ不循環シテ水溜ルナリ
故ニ防已ニハ水状アリ黃耆ニハ水状ナシ其症盜汗不
仁ナトアリ防已ニハ水氣在皮膚層中ト云ノ文アリ可考ナリ
此ヨリ氣メクラヌモノハ多分下部ニ腫ヲ發ス故ニ腰
以下ニ腫多ク陰ニ及ナリ氣フメグリニツキテ屈伸ナ

アシキナリ表ヨリ閉ルモノハ一身面目腫ルナトトテ先面目
ヨリ顯シ四肢ニ及ナリ此ハ表ニ水ナク閉ルナトナク氣ノミ
セマル故ニ頭汗出ルナリ頭汗ノ有無ニカ、ハレベカラスト
カク氣不循環ハ足ノカウ又ハ足ノ湧泉ノ辺跟ノ辺
ヨリ腫氣生スルモノナリ

黃疸病脉證並治第十五

此章論アツテ方ナキ症ハ先人ヨリトラス故ニ辨セカ
ナリ方ト証ト備ハルモノノミヲ取テ教ヲナスモノナリ

○穀疸之為病寒熱不食食則頭眩心

胸不安久久發黃為穀疸茵陳湯

主之茵陳湯方茵陳蒿六兩梔子十四枚

大黃二兩

右三味以水一斗先煮茵

陳減六升內二味煮取二升去滓分

溫三服

黃疸病ハ水滯シテ氣鬱シ發黃スルモノナリ 氣鬱
スレハ水溜ル瘕熱ト潮熱トハ別ナリ 潮熱ハ腹

滿シテ喘シ身重不惡寒短氣ナトアリ 氣外（發セントシテ
發セス枳實厚朴ノ主治スル所熱實ハ芒消大黃ノ主
治スル所ニシテセマリセマツテ劇ニ至レハ手足濇然トシテ汗
出テ潮熱ヲ發スルナリ瘕熱ハ鬱シテセマラサルカ故ニ
汗出ルナク小便不利アリ是表水氣ヲ閉テ鬱スルカ
故ナリ劇トキハ汗出ルナリ汗出ルモノハ鬱發ノ極位ナリ
此章穀疸字當ラス可刪ナリ穀疸トハ後人ノ挿入ナリ
内ヨリセマリ出ルモノ故ニ寒熱不食ス食則頭眩ハ食ニ因テ
熱ヲ動スナリ此内ヨリセマルナクアケシセマリテ心胸中不
安則後發黃ト云發黃ノ有無ニカハハラス如此ノ症
ハ此湯ヲ用ベシ久久ハ發黃ノ字ニ拘ハル（カラス然レモ
其理ナキニハアラス此湯モ一等ノ劇症ニ至レハ寒熱ノ

変十少渴シテ引水漿ニ至リ或ハ小便不利シテ大便ノ
変アリ心胸不安ト云ハ輕症ナリ内ヨリセマリテ寒熱ノ
変ヲアラハスハ梔子ノ主トスル所ナリ此湯梔子大黃
湯ト比較スレハ一等劇シク病腹ニアリテ心胸中ヘセリ
劇シキトキハ食物ノ變不大便ノ變ノツクナリ能参考シ
テ處方スベキナリ熱症ハ小便ノ色変スルナリ劇ニ至ル登
黄スルト知ルヘキナリ故ニ表症ニハ小便清カアタリマナリ
沢瀉湯ト茵陳蒿湯ト疑似ス茵陳蒿湯初三頭眩
劇トキハ渴アリ澤瀉湯初メハ渴シ劇ケハ渴セサル也

○黃家日晡所發熱而反惡寒此為女

勞得之膀胱急少腹滿身盡黃額上
黑足下熱因作黑疸其腹脹如水狀
大便必黑時澹此女勞之病非水也
腹滿者難治消石礬石散主之消礬
散方消石礬石燒等分右二味為末以
大麥粥汁和服方寸七日二服病隨

大小便去小便正黄大便正黑是候也

日晡所發スルモノニハ潮熱多クアリ然ラハ惡寒スヘ
カラス然ルニ惡寒アルハ是血症ノ變ナレナリ故ニ反ノ
字ヲ置タルヲ見ルヘシ少腹滿スルモノハ小便不利ノ症
アルヘキニ此症ナキハ血症ナルヲアケシ身發黄スルモノ
ハ血滯ヲ氣セシ故ナリ是瘀熱ノ候額上黒ハ血症
ノ徵ナリ凡血症ハ大便時鞭又時ニ澹スルナリ此ハ
水ノ交リテ下ルナリ便色鞭トキハ黒ク潤ヒアリ熱實ニ
テ黒キモノハ燥テ潤澤ナク焦黒ナリ血症ノ變ハ手足
ノ心熱スルモノナリ消石ト芒消トノ辨別ハ芒消ハ
熱實ヲサハクナリ其故イカントナレハ凡血症ニ芒消ヲ

イレレハ水ニナリテ凡血症ニナラス此米ノ精ヲ消化スルナリ
大便鞭熱實ハ穀氣ノ致ス所ナリ堅塊ヲ主トスルニ消
石カ宜ナリ

○酒黄疸心中懊懣或熱痛梔子大黃
湯主之梔子大黃湯方梔子十二枚
大黃一兩枳實五枚豉一升右四味
以水六升煮取二升分溫三服

此湯ハ茵陳蒿湯ヨリ一等ノ輕症ナリ茵陳蒿湯ハ
病暖ニアリ此湯ハ其病位心胸中ニアリ梔子ハ皆内
ヨリセマリテ熱ヲナスモノナリ故ニ身熱ヲナスアリ身熱
ト發熱トノ差別ヲ知ルベシ發熱ハ氣ノセマリヨリ發ス
ル故ニ皮外ニ發シ病人ノ蒲團ナトトリテ診スニホツト
熱氣直ニイタリホメキカ来ルナリ手ヲ肌膚ニアツレハ
アマリノ熱ヲ覺エサルナリ身熱ハサヤウニ熱氣人ヲ
射ルナク手ヲ肌膚ニツクレハ心胸中ヨリ腹ニ及テ熱
氣ヲ覺テ懊懷トテムカツク氣アリ手足掌心ニアラハ
レモタヘルモノナリ是氣セマリ心胸中ニテ熱痛スナリ
心中懊懷ハアリトキハ大便ニ變ナク熱痛スルニ至レハ不
大便ノ症ヲアラハスナリ此枳實大黃ノ主治スル所ナリ

○諸病黃家但利其小便假令脉浮當以

汗解之桂枝加黃耆湯主之

此湯ハ本黃汗病中ニアルヲ此書中ニ加ヘタルト見エタリ
黃疸ハ氣鬱シテ汗出ルナク水滯ヲ生シ發黃スル
ナリ桂枝湯ハ發熱汗出惡風スト本論ニ見エタリ又
黃耆ハ盜汗自汗ナトアリテ汗出ルモノナリ若汗ナケハ
不仁アリ多ク汗アルモノナリ黃芪ニテ汗ナキハ防已ト合
シタル方ナリ脉浮ニテ發黃セハ麻黃醇酒湯宜シヨクヨク
辨別シテ處方ヲナスベキナリ

○諸黃猪膏髮煎主之

○概悉概悉
黃病脉證隨テ方ヲ處スベシ然ルヲ概シテ如此云云ハ
試ヘキ目的ナシ故ニコレヲ辨セス猪膏猪脂同鄭玄曰
脂肥疑者釈名曰膏則猪脂膏以凝分之

○黃疸病茵陳五苓散主之茵陳五苓

散方茵陳蒿末十分 五苓散 五分

右二物和先食飲方寸七日 三服

此湯ハ渴シテ小便不利ノ症アリヲ察黄スルニヨリ世ニ
多ク此症アリ可考然レ氏不可拘ナリ隨症治之此ノ
黄症ト黄胖病トマキレヤスシ黄胖ハ身黄橘子ノ
色ノ如クナラス黄色モウスナリ血症ノ変ナレハ大黃
牡丹皮湯ニ鉄砂散ヲ兼用シテ能應スルモノナリ黄胖
病ハ血分ノ変ナルニヨリヨク消穀スルモノナリ能々可診察

○黃疸腹滿小便不利而赤自汗出此為

表和裏實當下之宜大黃消石湯大黃

消石湯方大黃黃蘗滑石 各四兩

梔子十五枚

右四味以水六升煮取三升

去滓内滑石更煮取一升頓服

此湯ハ裏ニ水滯シテ致ス所ナリ不利モ全不利ノ謂ニアラス
自汗出此表和シ裏ニ実スナリ内ヨリ外ニセラル故ニ自汗
出ルナリ方名ハ大黃消石湯トアリテ方中ハ消石ヲ滑
石ニ作ルアリ何レモ其理アリ堅塊ニテモアラハ消石血氣
ノ方ニカニハ滑石ヲ用ベシ是臨機應変ナリ拘泥スベカ
ラサルナリ

○黃疸病小便色不變欲自利腹滿而

喘不可除熱熱除必噦噦者小半夏湯
主之

此湯ハ癉黃ノ為ニアラス小半夏湯ハ水心下ニ溜リテアルカ
故ニ氣メクラス故ニ氣逆シテ嘔吐スルナリ此方ニ心下支飲ニ
ヨツテ氣メクラス癉黃スルナリ故上條ニ對シテ小便色不變ト云
欲自利ト不利ヲ書キシハ熱実セサルヲ辨別セシカ為ト
ナリ腹滿而喘スルハ水心下ニアリテ氣逆スルナリ然ルヲ熱実
ト見テ逐熱ノ藥ヲ用エルトキハ大ニ誤治シテ壞病ナリ
ヲ噦スルナリ小半夏ハ噦ヲ治スルノ方ナリ

○諸黃腹痛而嘔者宜柴胡湯

小柴胡湯ハ腹痛而嘔スル症ヲ主治スルナリ諸黃病凡ニ
外襲シテセマリ氣ヲ閉テ發セスセマリテ嘔スルノ症ニハ
此湯宜シ水氣表ニアレハ熱ヲ生ス熱生スレハ血氣凡ニセラル
故ニ腹痛スルナリ

男子黃小便自利當與虛勞小建中

湯

此湯ハ諸黃病ニアツカラサル方ナリ然レモ裏ヨリセマリ
テ腹痛スルカ心中悸而煩スル症アラハ用ヘキナリ

驚悸吐衄下血胸滿瘀血病脉證治

第十六

○火邪者桂枝去芍藥加蜀漆牡蠣龍

骨救逆湯主之桂枝救逆湯方桂枝

甘草三兩生薑六兩牡蠣五兩龜骨四兩

大棗十二枚蜀漆二兩右為末以水

一斗二升先煮蜀漆減二升内諸

藥後取三升去滓溫服一升

驚ハ外氣内陷シテ血滯リ氣逆スル故ナリ是大邪ヲ
表ヲ迫劫シテ表氣内陷スナリ悸ハ内陷シタル氣上ニ
セマリサハサハトシテ心下ニ衝ナリ然レモ按之ニ形ナシ動ハ
塊アリテ氣上ニセズモノ手ニ應スルナリ何レ皆表氣
内陷シテ血コリ氣セズナリ蜀漆ハ表ヨリ内陷シタル
モノヲ循ラスモノナリ吐衄ハ氣内ヨリセマリテアル所ノ
血ヲ逐ナリ下血ハ氣メクラスシテ血ヲ運ラスナラヌシテ血
下降スルナリ胸滿瘀血ノ薬方ナキハ方脱スルト見エタリ

心下悸者半夏麻黄丸主之半夏麻黄

丸方半夏麻黄等分右二味末之煉蜜

和丸小豆大飲服三丸日三

半夏ハ心下ニタマル水ヲ治スルナリ悸ハ茯苓ノ治スル所ナリ
悸ト云モノハ氣道ニ水溜リテ氣ノカヨウテ水ヲ動スニヨツテ
悸スルナリ劉宗ニ至テハ水氣ヲ充塞スル故ニ心下ト満ナル
然ルトキハ朮ヲ加テ氣ヲメクラシ水ヲサバク茯苓ノ主治
ノ水ハ血分ニカ、ルモノナリ

吐血不止者栝葉湯主之栝葉湯方栝葉

乾姜各三兩 艾 三把 右三味以水五升取

馬通汁一升合煮取一升分溫再服

千金方六阿膠二兩アリ小品肘後方六栝葉ヲ不用
吐血衄血六南涯先生ハ真石脂ヲ粉ニシ酢ニヒタシテ煮ル
七返シテ用フルニ奇効アリト云 江列伊吹ニ出ル艾ハ艾
ニヤラス詩經云萋萋ナリ先生家ニテハ此方ヲ用サルナリ
下血先便後血此遠血也黄土湯主之黃

土湯方甘草 乾地黄 朮 附子 阿膠

黃芩各三兩 竈中黃土半升 右七味以

水八升煮取三升分溫二服

黃土湯ノ血ハ身体ヲ循ル血ノ下ルナリ故ニ其人血色ヲ失
ヒ虛里ノ動ツヨク動シ脉ハ數ニナルモノナリ此ハ氣メタラスシ
テ血脱スルヲ主治スル方ナリ煩熱ツヨク手足ノ心熱シテ
然ルニキナリ世ニ痔血ト稱スルモノハ肛門ノ辺ニ血タマリタル
ヲ大便セントスルトキ努カニヨツテ漏ル、ナリ故ニ其人血
色ヲ失ハス脉モ數ニナラス虛里ノ動ツヨカラス煩熱モナキ

ハモトタマリタル血ナレハナリ然レハ劇症ニイタレハ同シ痔
血ト称シテ下血ノモノハ當飯芍薬散效アリ氣メクラス血
溜リテ下血スルモノハ芍飯膠艾湯ナリ黄土六ヨク血ヲラ
サクルモノナリ故ニ婦人妊娠中ニ嘔吐スルニ黄土ノ煎汁
ニテ用フルニオサマルモノナリ是血症ヨリ起ル病ナレハナリ
南涯先生余ニ親シク語テ云世ニ下血ヲ患ルモノニ諸医手
ヲ尽シテ治セサルアリ其症面血色ヲ失ヒ唇紅ナク虚里
ノ動ツヨク眩暈ヲ發シテ倒レントシテ其足冷テ麻痺ア
リウタハル、モノニ用テヨク應スルモノナリ此傳ヲ聞テ此
方ヲ用テ屢効ヲトリタリ件ノ症ノ如キモノニ苓朮朮甘
湯ニ加黄土ヲ用テ効アルヲモ見タリ此ハ二宮東亭ノ傳
ノヨシナリ○惡風シテ身シビレ心煩手足冷テ脉數ナ
ルモノニ此湯ヲ用ベシ唯腹痛シテ下血スルモノハ芍飯膠艾湯
ヲ用テ應スルナリ

下血先血後便此近血也赤小豆當歸散

主之赤小豆當歸散方赤小豆

三升浸令
芽出曝乾

當歸十兩石二味杵為散漿水服方寸匕

日三服

此湯ノ症ハ當飯芍薬散ヲ用テ可ナリ

心氣不足吐血衄血瀉心湯主之瀉心湯方

大黃 二兩

黃芩

黃連

各一兩

右三味以

水三升煮取一升頓服之

此湯ハ千金方ニ心氣不定ニ作ル從ベシ心氣不定ハ煩ノ形ニテ
心胸中ノクルミク息タハシキナリ不足ト字ノサマ似タ
ルヨリ書アヤマリタルナルベシ内ヨリ氣セマリ血ヲ逐テ
吐血衄血スルナリ故ニ下血ナキモノナリ若熱劇ミク熱ニ逐
レテ吐血衄血下血スルモノハ黃連解毒湯ヨク應ス是施
子アル故ナリ梔子ハ内ヨリ外ニセマルモノヲ治ス故ニ身熱ヲ
アラハスナリ○熱ヨリナス吐血ハ黃連解毒湯虛里ノ動ハ
芩畝膠艾湯ノ症ニナキナリ瀉心湯黃土湯ハ氣ニヨリテ

外ハ血ヲ逐故ニ虛里ノ動アリ氣ノセマリアルモノニハ腹痛ナク
煩熱アリ下血糸縷ノ如ク走ルモノハ當畝芍藥散痔疾ハ
ナトニテ熱ヲ帶テ下血スルモノハ黃連解毒湯○虛里ノ
動靜ニシテ脈數ナルモノハ痔血ナリ痔血ハ肛門ニ溜
テ下血スルモノナリ痔血肛門ヨリ糸スグノ如ク走ルモノハ
芩畝膠艾湯ヲ用ベシ痔血又當畝芍藥散ヲ酒ニテ
用ベシ

